

感性と知性の心理

科目ナンバリング EXP-101
選択 2単位

山村 豊

1. 授業の概要(ねらい)

われわれは、世界の多くの事象を感覚として捉え、理解し、感情を抱き、長く記憶にとどめる。これら日々の営みは、心理学という学問の重要な研究対象であるとともに、教育活動の基礎となる。この授業では、この基礎を、感情・動機づけ、学習、認知、すなわち感性と知性に区分して学ぶ。

2. 授業の到達目標

教育心理学を理解するうえで不可欠な、学習・認知および感情と動機づけについての知識を体系的に習得する。併せて、心理学的観点および実証的観点から、児童・生徒の学習行動が理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内での課題(20%)と期末試験(80%)との総合評価。

4. 教科書・参考文献

教科書

山村豊・青木智子(編) 『学びのための心理学』 (北樹出版)

5. 準備学修の内容

授業前に、テキストの講義内容が記載している箇所を読んでおく。

授業後、ノートとプリントをまとめ、授業内で分からなかった点を後日質問すること。

6. その他履修上の注意事項

授業収録をしているので、公欠した場合の補習や復習などに活用してほしい。

7. 授業内容

【第1回】	S0 授業ガイダンス	S1 知性と感性と教育
【第2回】	S2 学習と教育①:学習とは	
【第3回】	S2 学習と教育②:古典的条件づけ	
【第4回】	S2 学習と教育③:オペラント条件づけ	
【第5回】	S2 学習と教育④:社会的学習	
【第6回】	S3 認知と教育①:認知とは	
【第7回】	S3 認知と教育②:短期記憶と長期記憶	
【第8回】	S3 認知と教育③:ワーキングメモリとメタ認知	
【第9回】	S3 認知と教育④:状況的認知	
【第10回】	S4 感情・動機づけと教育①:感情と動機づけの諸相	
【第11回】	S4 感情・動機づけと教育②:感情と認知	
【第12回】	S4 感情・動機づけと教育③:動機づけの低下	
【第13回】	S4 感情・動機づけと教育④:やる気をはぐくむ	
【第14回】	S5 知性と感性と教育	
【第15回】	まとめとテスト	